

BONMAC

コーヒーカッター

取扱説明書



こちらのQRコードから
製品取扱、トラブルシューティング
動画をご覧いただけます。

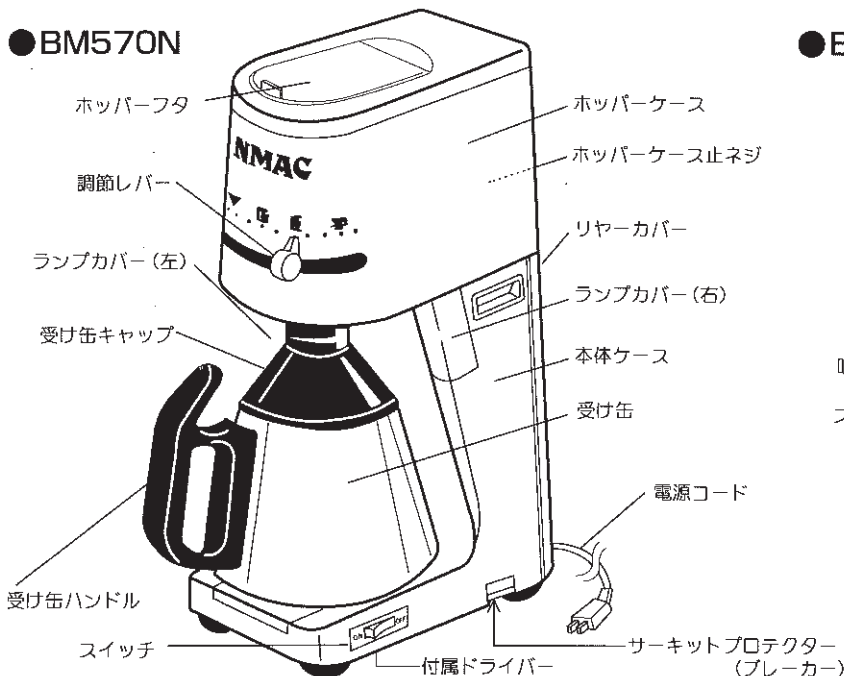
MODEL BM-570N(DX), BM-570S(DX)

要保管

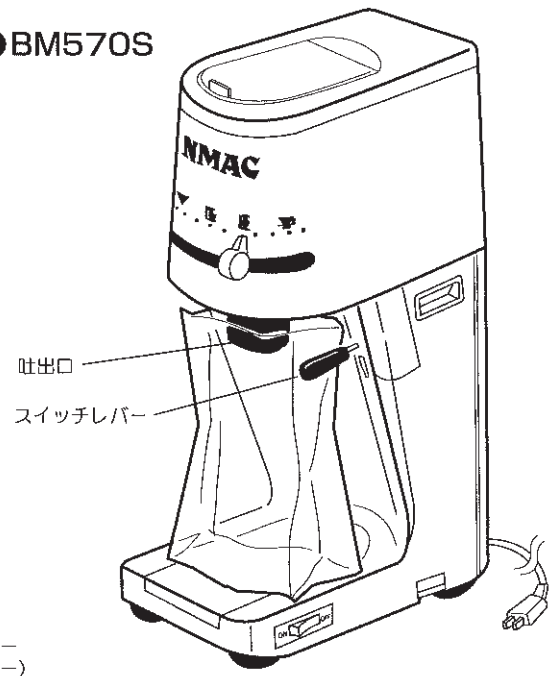
この度は当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に是非この説明書をお読みいただき、末長くご愛用下さい。

外観図

●BM570N



●BM570S



仕 様

大きさ	180(W)×300(L)×495(H)	
形式	BM-570N(DX)	BM-570S(DX)
重量	8.1kg(本体のみ)	
モーター	100V	
	50Hz:7A 60Hz:7A	
	最大消費電力 480W	
	定格 15分	
ホッパー容量	600g(最大)	
付属品	⊕ ⊖ ドライバー(本体装着), アース線, (ブラシ DX)各1本	

この仕様は改良のため予告なく変更する事があります。ご了承下さい。

安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。

- 警告** 守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。
- 注意** 守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

警告

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

電源は、タコ足配線での接続はしないでください。

Y型取付機器の電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくは、その代理店又は同等の有資格者によって行わなければならない。

機械に水をかけないでください。

水のかかりやすい場所や、湿気が多い場所には設置しないでください。

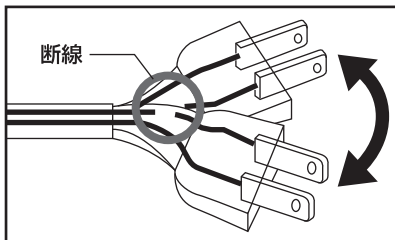
濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

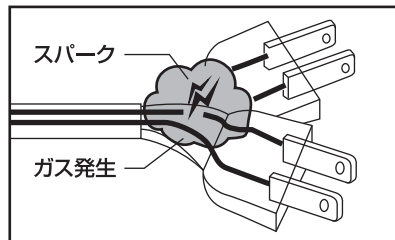
小さなお子様や、不馴れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

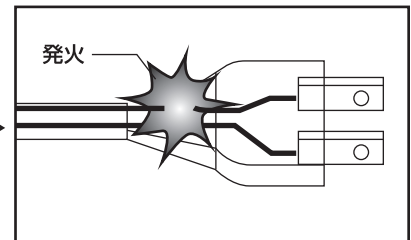
コード内部が断線したまま使用を続けると、火災の危険性が!!



コードの折り曲げを繰り返すとコード内部が断線します



断線状態で繰り返し使用するとスパークが発生し、コードの樹脂がガス化します。



コード内部にガスが溜まった状態でスパークが発生すると、着火し火災が発生します。

注意

振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。

屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。

運転中、ホッパー内に手を入れないでください。

排出口に指や異物を入れないでください。

高熱を発生する機械の周辺などでは使用しないでください。

清掃・点検時は、電源プラグを抜いてから行ってください。

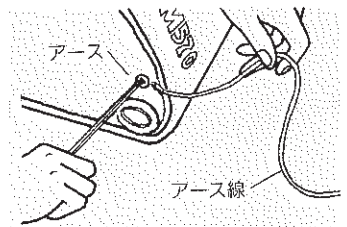
営業終了後など長時間作業者がいない間は、電源プラグを抜いておいてください。

この機械は、コーヒー粉碎の目的以外に使用しないでください。

準備

- ①アース線を取り付けてアースして下さい。
 - ②電源コードプラグをコンセントに差し込んで下さい。
- 注意：コンセントは電圧降下の恐れがありますので、専用コンセントをご使用下さい。

アース取付図

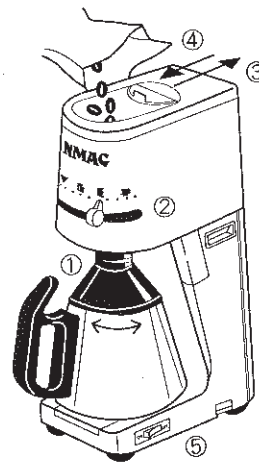


運転

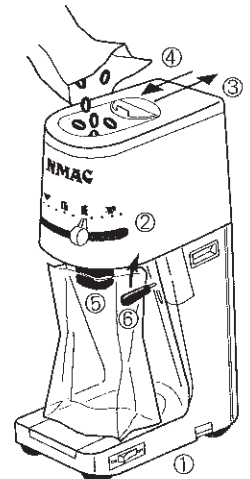
● MODEL BM570N

- ①受け缶をセットして下さい。
(受け缶キャップは都合のよい方向にセットできます。)
- ②調節レバーを希望メッシュの位置にセットして下さい。
- ③フタを矢印の方向にスライドさせてコーヒー豆を入れて下さい。
- ④フタをもとの位置に戻して下さい。
- ⑤サーキットプロテクターをONにし、スイッチをONにして下さい。
(通常運転はスイッチでON、OFFして下さい)

操作順序 BM570N



操作順序 BM570S



● MODEL BM570S

- ①サーキットブレーカーをONにし、スイッチをONにして下さい。
- ②調節レバーを希望メッシュの位置にセットして下さい。
- ③フタを矢印の方向にスライドさせてコーヒー豆を入れて下さい。
- ④フタをもとの位置に戻して下さい。
- ⑤袋の口に吐出口を差し込んで下さい。
- ⑥スイッチレバーを矢印の方向に押し上げて下さい。指を離すと止まります。(通常運転はスイッチレバーでON、OFFして下さい)

- 注意：1. 回転中は吐出口内部、ホッパー底部に絶対に指を入れしないで下さい。
2. 連続運転は避けて下さい。(15分以内)

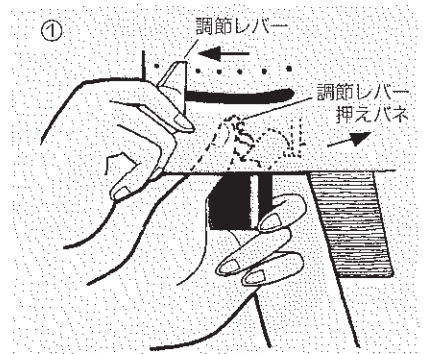
安全装置の点検(サーキットプロテクターの復帰)

粉づまり、異物噛み込み等でサーキットプロテクターが作動してモーターの回転が停止した場合は、原因を取り除いた後にサーキットプロテクターをONにして下さい。注意：電源プラグをコンセントから必ず抜いてから行って下さい。

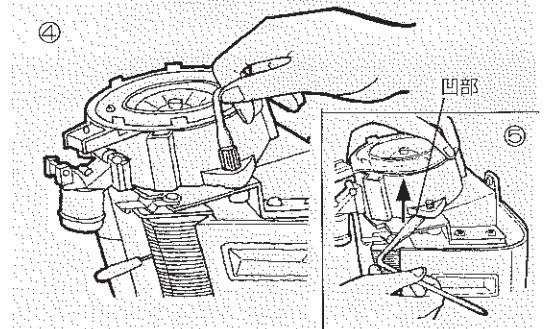
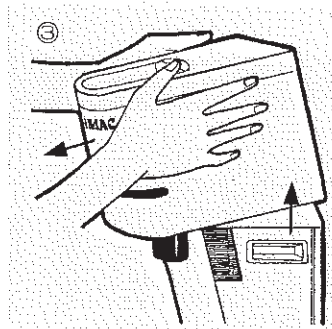
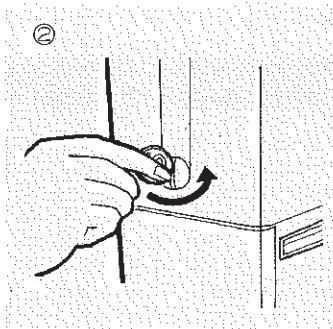
分解・保守・点検

- ※電源プラグをコンセントから必ず抜いてから行って下さい。
- ※付属ドライバーは本機底部に装着してあります。

- ①調節レバー押えパネを矢印の方向に押しながら、調節レバーを前方向に引いて下さい。
- ②後部のホッパーケース止めネジを左に廻し、取り外して下さい。
- ③ホッパーケース後部を上方向に持ち上げ、前に移動するとはずれません。(前部はフック止め)
- ④カッターケース締付ネジをゆるめ取り外して下さい。
- ⑤カッターケースを持ち上げて取り外して下さい。
固くて取り外せない時はマイナスドライバーを凹部に入れ矢印の方向に持ち上げて下さい。



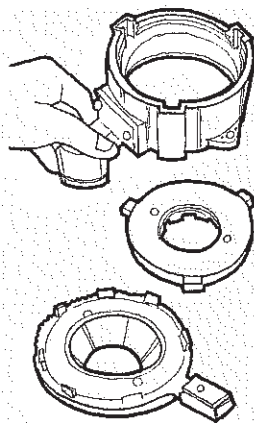
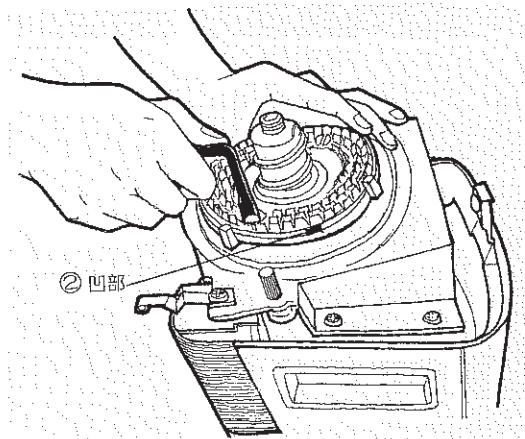
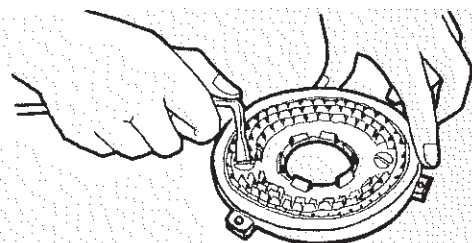
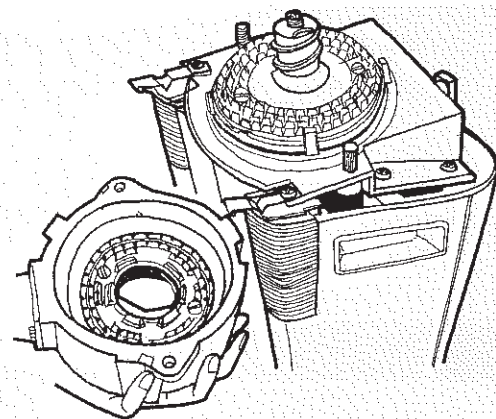
※ホッパーケース止ネジを取り外すと安全装置が作動して、電源が自動的にOFFになります。



カッター交換

- ①カッター性能が悪くなり、挽き終わる時間が長くなった場合等はカッターを取り替えて下さい。
- ②カッターが取り外せない時は、マイナスドライバーを凹に入れてカッターを持ち上げて下さい。

注意：1. 電源プラグをコンセントから必ず抜いてから行って下さい。
 2. カッター取付ビスの頭の穴をよく清掃した後、ドライバーで取り外して下さい。
 3. 回転カッターと固定カッターはセットで交換して下さい。組付は以上の取り外しの逆の順序で行います。

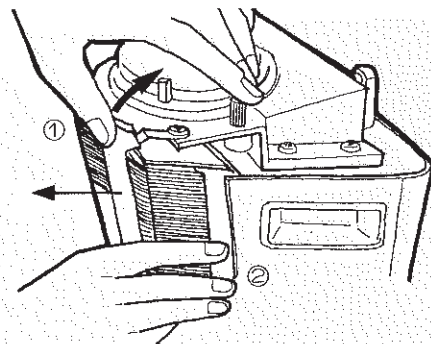


※ホッパーケース止ネジを締め付けますと始めて通電します。

ランプ交換

- ①ホッパーケースを取り外し、板パネを上を持ち上げる。
(分解・保守・点検の項を参照)
- ②ランプカバーを上を持ち上げながら前方に引き、フックをかわして引き出して下さい。
- ③ランプを左に廻して取り外して下さい。

注意：電源プラグをコンセントから必ず抜いてから行って下さい。

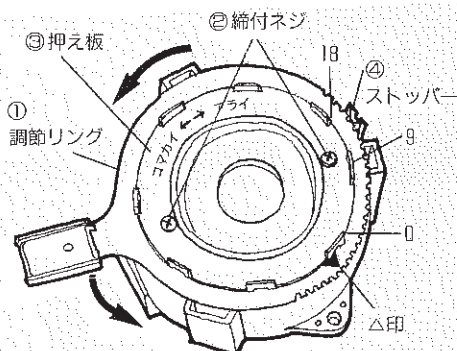


メッシュ調整方法

1. ①の調節リングを反時計方向(コマカイ)に固定カッターに当たるまで廻します。(固くて廻らなくなる)
2. ③の押え板の②締付ネジを1回転ほどゆるめます。(2ヶ所)
3. その位置で③の押え板が動かないようにして①の調節リングを動かし▲印を④のストッパーに合わせます。
4. ②の締付ネジを締めつけて下さい。(特に強く締めつける)
5. ①の調節リングを中央の位置に戻して、ホッパーケース、調節レバー等を組み付けて下さい。

※微調整は▲印を左右に移動して行って下さい。

注意：電源プラグをコンセントから必ず抜いてから行って下さい。

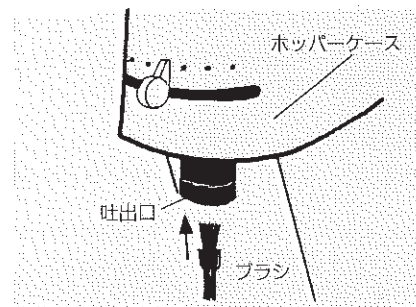


※フレーム内のリミットスイッチは安全装置です。無理に押し下げたりしないで下さい。

クリーンシステムの清掃 (BM570N・DX, BM570S・DX)

コーヒー粉が袋、吐出口、受缶等に附着し始めたら、矢印の方向から付属のブラシでクリーンバーの針のまわりを清掃して下さい。

注意：電源プラグをコンセントから必ず抜いてから行って下さい。



故障診断と処置

症状	原因	対策
A. スイッチを入れてもモーターが回らない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源プラグの差し込み不十分 2. コンセント不良 3. 機械内部の結線不良 4. サーキットプロテクターの作動 5. カッターの異物噛み込み 6. (粉づまり)受け缶または袋がいっぱいになりサーキットプロテクターが作動 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確実に差し込む 2. コンセント点検 3. 点検 4. サーキットプロテクターをONにする。 5. 分解除去後サーキットプロテクターをONにする。 6. 受け缶または袋を取り外し、サーキットプロテクターをONにすると粉を押し出します。それでも出ない時は調節レバーを左（荒い方向）に移動し、再度運転して下さい。
B. ランプが消えた	<ol style="list-style-type: none"> 1. 片方のみ消えた 2. 右、左ともに消えた 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ランプ交換 2. サーキットプロテクターが切れたため、上記A. の点検。モーターが回る場合はランプの不良。右、左とも交換して下さい。

本体外面のお手入れ

本体外面の汚れは、やわらかい布（台所用中性洗剤を入れた水を少し含ませた）で軽くふき取って下さい。

注意：絶対に、みがき粉や硬いたわし、溶剤（ベンジン・シンナー・ガソリン等）を使用しないで下さい。

製品保証書

型式	BM-570	機番	保証期間
お客様様	お名前 様		お買上げ日より1カ年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 () -		* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 () -			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキョーエマシソ 株式会社

本 社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

東京本部

広 域 営 業 部 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-5724

営業所

札幌営業所	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号	TEL(011)898-3636	FAX(011)897-1467
東京営業所/東京ショールーム	〒105-0004	東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル	TEL(03)5400-5720	FAX(03)5400-5723
名古屋営業所/名古屋ショールーム	〒451-0046	名古屋市西区牛島町5番4号	TEL(052)587-7678	FAX(052)587-7677
大阪営業所/大阪ショールーム	〒537-0001	大阪市東成区深江北3丁目5番7号	TEL(06)4259-2655	FAX(06)4259-2660
福岡営業所	〒813-0062	福岡市東区松島6丁目2-1	TEL(092)292-0335	FAX(092)292-0356
福岡ショールーム	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル	TEL(092)292-0335	FAX(092)292-0356